

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	老人福祉施設入所措置費	担当者	民生課	福祉係
-------	-------------	-----	-----	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	2. だれもが健康で、心安らぐ村／福祉・健康・医療の充実／高齢者福祉			
関連する主な計画等				
根拠法	老人福祉法			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	身体・精神上的の障がいがあるために日常生活が営めない高齢者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	身体・精神上的の障がいがあるために日常生活が営めない高齢者に対し、措置により生活介護・相談、適切な医療等を提供し、生活の安定と自立した生活の営みを図る。			
具体的取組	家庭で介護を受けることが困難な方を、その状態に応じて養護老人ホームへ入所させ、安全で自立した生活を提供する。			
実績・効果	入所施設 養護老人ホーム4施設(信濃寮・天龍荘・光の園・ハートヒル川路) 入所者数 9名  施設において安全で安定した生活が送れている。			

歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
		扶助費(入所措置費)	17,919				
事業コスト	区分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)		13,867	16,762	17,919		
	うち一般財源		10,856	13,265	14,079		
	うち補助金						
	うち個人負担		3,011	3,420	3,840		
	従事職員(人)		正規職員				
		臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	ひとりでの生活は艱難であり制度上必要	B
	手段、成果は妥当か	a	保護の観点で適切な措置	
	対象者の設定は妥当か	a	審査会にて判定されている	
	村の関与は妥当か	a	法律上村が行う事業	
有効性	期待された効果が得られたか	入所者は安定した生活が送れている		B
効率性	コストの削減に努めたか	a	法で定められた基準により支出している。	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	施設基準は法に定められている。	
公平性	受益者負担は適切か	応能負担で基準による		A
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	法で定められた事業であり必要な場合は村の義務である。
今後の取り組み	措置は最終手段としてできる限り地域で生活できるよう支援をする。